

4つの政策



【政策1】ひと
→人を育む吉野町

【政策2】循環
→循環と発展をめざす吉野町

【政策3】安心
→安心できる吉野町

【政策4】行財政
→持続可能な吉野町

2.まちづくりの方向性(政策の方向性)

将来像達成のためには人づくりやまちの循環と発展、町民の安全・安心が重要であると定義し「人を育む吉野町(政策1)」「循環と発展をめざす吉野町(政策2)」「安心できる吉野町(政策3)」を設定し、さらに、この政策達成のため、安定した財政基盤を表す「持続可能な吉野町(政策4)」の4つを政策としています。

★将来像達成のための4つの政策

政策3 安心できる吉野町

政策の方向性

経済環境の不透明感や高齢化の進展、地域コミュニティの機能が低下する中、防災・防犯対策のほか、医療や福祉環境、社会保障等、日常生活の安全や安心に対するニーズが高まっています。

「安心できるまち」=「人が暮らし続けられるまち」であるため、住み慣れた地域で、安心して日常生活を過ごすことができるまちを目指します。

主な施策

●健康・福祉・医療

- ・疾病予防や主体的に健康づくりに取り組める環境の整備
- ・高齢者が活躍できる仕組みの構築とボランティア人材の育成
- ・安心して住み続けられる地域包括ケアシステムの充実
- ・高齢者や障がいのある方等、多様な世代が集うことのできる、地域交流の場の創出や拠点の整備
- ・町内および周辺の医療機関のほか、南奈良総合医療センターとの連携推進、病院への交通手段の確保等、安心して医療を受けられる体制の整備

●防災・都市基盤

- ・避難所の確保や防災機能の充実等公助だけでなく、地域での防災体制整備等自助や共助の推進
- ・リスク分散や防災機能の充実の観点から行政機能の継続性を担保できるよう、庁舎機能を充実
- ・災害に強い土地利用を進め、道路、橋梁、上下水道等については、計画的な維持管理により町民の安全・安心を確保

政策4 持続可能な吉野町

政策の方向性

町民が安心して暮らし続けることができるよう、将来世代に負担を先送りせず、財政の健全化を進めることで、持続可能なまちを目指します。

主な施策

●行財政運営

- ・事業の「選択と集中」を図り、デジタル技術等の活用による、業務効率の改善と経常経費の抑制
- ・「中期財政計画の策定」と「行政評価制度の効果的な運用」による、庁内のマネジメント体制の確立
- ・町民ニーズの多様化や新しい生活様式に対応した非対面化、リモート等による新たな行政サービスの展開の検討
- ・行政情報の積極的な開示や的確な発信
- ・デジタル化に迅速、的確に対応した施策等の展開と町民の利便性向上に繋がる施策等の展開



第5次吉野町総合計画の基本構想がまとまりました

総合計画は、本町におけるまちづくりの最上位に位置づけられる計画で、基本構想と基本計画で構成します。基本構想とは「基本理念」「まちの将来像」「まちづくり・土地利用の方向性」「施策の大綱」等、今後概ね10年間の大規模なまちづくりの指針を示したものです。

1. まちの将来像

「ひと」がつながり「ひと」が輝き「ひと」が潤う 感動生まれる 吉野町

「まちの将来像」は、まちづくりの主役である「ひと」が“つながる”ことで、“輝き”“感動”が生まれ、心が豊かに“潤う”という未来のまちの姿をイメージしています。また、明るく希望に満ちたまちの未来を実感し「ワクワクドキドキ」できるようなまちづくりを進めていきたいという想いを込めています。

3. 将来像実現のための施策体系(施策の大綱)

4つの政策の方向性の達成に向けて、34施策を設定し、それぞれ具体的な取組方針、成果指標等を基本計画内に掲げ、町政を推進していきます。なお、将来像達成のための4つの政策は次のとおりです。

★将来像達成のための4つの政策

政策 1 人を育む吉野町

政策の方向性

吉野町のまちづくりの中で、もっとも重要なのは人です。吉野町全体で、それぞれの人の権利が守られ、人が育ち、人が輝けるまちの実現を目指します。

主な施策

●子どもの教育・健全育成

- ・子育てしやすい環境を整え、出生率の向上につながるまちづくり
- ・地域ぐるみでの子どもの見守り活動や妊娠期からの切れ目のない子育て環境を整備
- ・「ふるさと吉野」への愛着心と生きる力を育む小中一貫教育を実現
- ・ICTを活用した環境整備を推進

●社会教育・社会体育

- ・町民一人ひとりが生涯に渡って学習できる環境づくり
- ・文化・芸術活動に親しめる環境づくりや生涯スポーツへの関心を醸成

●官民協働・人材育成

- ・地域を支える人材の育成による地域力の向上
- ・職員の意識改革やスキルアップによる行政サービスの向上

政策 2 循環と発展をめざす吉野町

政策の方向性

豊かな自然環境や歴史・文化のほか長い歴史を持つ手漉き和紙産業や地域を支えてきた地場産業等、吉野町では悠久の歴史の中で培ってきた多数の魅力ある資源があります。これらの資源を再認識し、それぞれを関係づけ、循環させることで、新たな価値を創出し、発展するまちを目指します。

主な施策

●自然環境・廃棄物対策

- ・吉野町の大きな資源である美しい自然環境を後世に継承する
- ・環境に配慮したごみ減量化の意識醸成と持続可能なごみ処理の仕組みの構築

●産業・観光

- ・産業間の連携と人づくりの推進
- ・割り箸産業、手漉き和紙産業などの地域資源を活かした産業の需要拡大や生産性向上、市場の開拓を推進
- ・県内各地を周遊させる滞在型観光の仕組みの構築
- ・「木の文化」の再確認による新しい価値観・新たな循環の創出

●関係人口・移住定住・公共交通

- ・町民等の移動ニーズの変化と新たな生活様式に対応した地域交通体系の整備
- ・人々の暮らし方や新しい価値観、新しい働き方等の変化に対応した施策展開による関係人口の増加と持続可能な発展